

P.93 市役所の人の話を読んで、() にあたはまる言葉を書きましょう。

() が開業したことにより、通勤がべんりになりました。しだいに() のまわりに人が住むようになり、() がふえていきました。人口がふえるとしだいに() もできてきて、駅周辺がにぎやかになっていきました。

◎公共しせつのうつりかわり P96

人がふえ、公共しせつもたくさんつくられています。

学校や図書館など。

○P97の写真にのっているしせつに赤線を引きましょう。

○小・中学校を青線で引きましょう。

およそ何年前	西暦	年号	主なできごと
100 年前	1873	明治 6 年	○郷文学校(旭小)、時習校(三輪野江小)、芳川学校(吉川小)ができる
	1879	12 年	○ゆうびんきょくができる
	1893	26 年	○吉川けいさつしょができる。
50 年前		大正	
	1941	昭和 16 年	○小学校が国民学校となる
	1942	22 年	○国民学校が、吉川小学校・旭小学校・三輪野江小学校となり、 吉川中学校・旭中学校・三輪野江中学校もできる
	1952	27 年	○吉川保健所ができる
	1959	34 年	○吉川中学校・三輪野江中学校を統合して南中学校ができる
	1960	35 年	○吉川東中学校ができる
	1963	38 年	○町内小学校にプール完成(吉小・三小・旭小)なる
	1968	43 年	○吉川町役場の庁舎ができる
	1969	44 年	○吉川町の保育所ができる
	1970	45 年	○吉川けいさつしょが三輪へ移転
	1971	46 年	○給食センターができる ○吉川清ほうしょができる ○県立吉川高等学校ができる
	1972	47 年	○南中学校が保に移転する
	1973	48 年	○吉川町公民館ができる ○関小学校ができる
	1975	50 年	○北谷小学校ができる
	1978	53 年	○老人福祉センターができる
	1979	54 年	○米小学校ができる
	1981	56 年	○中曽根小学校ができる ○中央中学校ができる ○町民プールができる ○保健センターができる
	1983	58 年	○総合体育館ができる
	1985	59 年	○第二給食センターができる ○郷土資料館がオープンする
	1987	62 年	○中央公民館ができる ○中井沼公園ができる
	1988	63 年	○新しい保健センターができる ○沼辺公園ができる
	1989	平成 元年	○児童館ワンダーランドができる ○関公園・保第二公園ができる
	1990	2 年	○道庭公園ができる
	1992	4 年	○木売公園・中曽根公園ができる
	1994	6 年	○清ほうしょ新庁舎が完成する
	1995	7 年	○県営吉川公園ができる ○屋内温水プールができる
	2013	25 年	○美南小学校ができる
	2018	30 年	○市役所がきよみ野に移転

・公共しせつを新しくするために、市のお金()が使われています。

まとめ

吉川市の様子は、毎年じょじょに()がふえ、交通や土地の使われ方が変わってきた。その後、(昭和)のころから、公共しせつも増え、電化製品が多くなり、生活の様子も大きく変化してきた。